

● JIS G3452

●種類	SGP 黒 管
	SGP 白 管
	SGP 白ネジ付

●適用範囲 | 使用圧力の比較的低い蒸気、水、油、ガス、空気などの配管に用いる炭素鋼鋼管。

■ 化学成分

種 類	記 号	化学成分 (%)	
		P	S
配管用炭素鋼鋼管	SGP	0.040以下	0.040以下

■ 機械的性質

種 類	記 号	引 張 試 験			曲 げ 試 験	
		引張強さ (N/mm ²)	伸 び (%)		曲げ角度	内側半径
			11号試験片 12号試験片	5号試験片		
			縦方向	横方向		
配管用炭素鋼鋼管	SGP	290以上	30以上	25以上	90°	管の外径の6倍

■ 外径の許容差

呼び径 A	外径 (mm)	外径の許容差		厚さの許容差
		テーパねじを切る管	それ以外の管	
6	10.5	±0.5mm	±0.5mm	+規定しない -12.5%
8	13.8	±0.5mm	±0.5mm	
10	17.3	±0.5mm	±0.5mm	
15	21.7	±0.5mm	±0.5mm	
20	27.2	±0.5mm	±0.5mm	
25	34.0	±0.5mm	±0.5mm	
32	42.7	±0.5mm	±0.5mm	
40	48.6	±0.5mm	±0.5mm	
50	60.5	±0.5mm	±1%	
65	76.3	±0.7mm	±1%	
80	89.1	±0.8mm	±1%	
90	101.6	±0.8mm	±1%	
100	114.3	±0.8mm	±1%	
125	139.8	±0.8mm	±1%	
150	165.2	±0.8mm	±1.6mm	
175	190.7	±0.9mm	±1.6mm	
200	216.3	±1.0mm	±0.8%	
225	241.8	±1.2mm	±0.8%	
250	267.4	±1.3mm	±0.8%	
300	318.5	±1.5mm	±0.8%	
350	355.6	—	±0.8%	
400	406.4	—	±0.8%	
450	457.2	—	±0.8%	
500	508.0	—	±0.8%	

【備考】

1. 呼び径350A以上の管の外径許容差は、周長測定によることができる。この場合の許容差は±0.5%とする。なお、外径の測定に周長を用いる場合の判定は、周長実測値又は実測値の換算直径のいずれによってもよい。いずれも同一許容差(±0.5%)を適用する。ただし、直径(D)と周長(l)の相互換算は、次式によって計算する。

$$l = \pi \cdot D$$

ここに、 $\pi=3.1416$ とする。
2. 手入部等の局所的な部分については、厚さの許容差が、左表を満足していることが確認できる場合は、左表の外径の許容差を適用しない。